

「*medicina*」第34巻 総目次

1997年 第1号～第13号

(数字は頁数, () は号数を示す.)
(11号は増刊号につき不掲載.)

〔今月の主題〕

臓器感染症へのアプローチ

〈Introduction〉

- 感染症へのアプローチのしかた
.....北原 光夫 6(1)
最近の感染症に対する考え方 喜舎場朝和 8(1)

〈中枢神経系感染症〉

- 急性細菌性髄膜炎の治療の現状
新田 永俊・沖野 惣一・高守 正治 12(1)
慢性髄膜炎へのアプローチ相馬 芳明 17(1)
脳膿瘍の診断と治療田中 真 20(1)
ヘルペス脳炎藤田 恒夫 23(1)
ウイルスとプリオンの慢性感染症
.....細川 武 26(1)

〈呼吸器系感染症〉

- 市中肺炎の分類と診断
中西 洋一・高山 浩一・原 信之 30(1)
細菌性肺炎の診断と治療長井 苑子 33(1)
非定型抗酸菌の診断と治療 多田 慎也 36(1)
嫌気性菌による肺炎の診断と治療
.....小林 英夫 39(1)
院内感染肺炎の診断をどうつけるか
.....向野 賢治 42(1)
好中球減少例の肺炎へのアプローチ
.....外島 正樹・吉田 稔 44(1)
胸腔内感染の治療の基本下方 薫 47(1)

〈感染性心内膜炎〉

- 心内膜炎の診断基準
.....玉野 宏一・竹田 幸一 49(1)
心内膜炎の新しい治療ガイドライン
.....北原 光夫 52(1)

〈消化器系感染症〉

- H. pylori* の除菌と臨床的意義 永田 博司 55(1)
下痢へのアプローチ斧 康雄 59(1)
偽膜性腸炎の診断方法と治療 星加 和徳 63(1)
腹膜炎(原発性・続発性)福田 吉秀・山田 雅彦・片野 義明・早川 哲夫 65(1)
肝膿瘍の起こり方と治療方法
.....田中 直英・荒川 泰行 68(1)
胆道感染症の内科的治療と外科的治療

- 小出 典男・浮田 実・辻 孝夫 71(1)

〈尿路系感染症〉

- 尿路感染症の合理的な治療
.....広瀬 崇興・横尾 彰文 75(1)
前立腺炎への対処方法
.....吉岡 俊昭・奥山 明彦 78(1)

〈皮膚・軟部組織・骨感染症〉

- ブドウ球菌とレンサ球菌による軟部組織感染症
.....早川 和人 83(1)
糖尿病の足細川 和広 86(1)
単発性関節炎と多発性関節炎 武田 昭 89(1)
骨髄炎青木 眞 94(1)

〈その他の感染症〉

- 敗血症のマネジメント菅野 治重 97(1)
最近の結核症の特徴渡辺 彰 103(1)

〈AIDS例と感染症〉

- AIDS例の肺炎へのアプローチ
.....一宮 朋来・那須 勝 107(1)
AIDS例の中枢神経系感染へのアプローチ
.....岡 慎一 110(1)
AIDS例の下痢へのアプローチ
.....増田 剛太 112(1)

〈感染症と予防対策〉

- 院内の感染予防対策遠藤 和郎 116(1)
成人のためのワクチン 1997大石 和徳 120(1)
海外旅行者のための感染症予防と帰国後の対策
.....濱田 篤郎 123(1)
今月の主題・理解のための35題 127(1)
解答 188(1)

アレルギー疾患の最近の考え方と治療

〈Editorial〉

- アレルギー疾患その新しい概念と治療体系
.....福田 健 196(2)

〈ここまで進んだ病態解明〉

- アレルギー性炎症とは奥平 博一 200(2)
アレルギー性炎症における肥満細胞・好酸球・T細胞の役割岡山 吉道 204(2)
気道の炎症性疾患としての喘息
.....佐野 靖之 209(2)

鼻過敏症発症のメカニズム	
.....寺田 修久・浜野ナナ子・	
山越 隆行・藤田 洋祐・今野 昭義	215(2)
アレルギー性炎症としてみたアトピー性皮膚炎	
.....中川 秀己	220(2)
〈アレルギー疾患の新しい検査法〉	
特異的IgE抗体測定法	中川 武正 225(2)
好酸球顆粒蛋白の測定法とその臨床的意義	
.....永田 真	229(2)
〈アレルギー疾患治療薬の進歩〉	
抗アレルギー薬の種類と作用機序	
.....富岡 玖夫	233(2)
抗アレルギー薬の実際の使い方(内科領域)	
.....高橋 清	239(2)
抗アレルギー薬の実際の使い方(耳鼻科領域)	
.....増山 敬祐	246(2)
抗アレルギー薬の実際の使い方(皮膚科領域)	
.....池澤 善郎	250(2)
アレルギー性炎症や喘息の病態に対するステロイド薬の作用	田村 弦 257(2)
吸入ステロイド薬への期待と限界(内科領域)	
.....石原 享介	260(2)
吸入性ステロイド薬への期待と限界(耳鼻科領域)	
今野 昭義・寺田 修久・永田 博史	265(2)
ステロイド外用薬の効果と副作用	
田中 洋一・分山 英子・片山 一朗	268(2)
喘息におけるβ刺激薬の最近の考え方と使用法	
榊原 博樹・大河原重栄・佐藤 元彦	273(2)
喘息におけるテオフィリン薬の新しい側面と使い方	
.....大田 健	278(2)
〈アレルギー疾患の治療ガイドライン〉	
成人気管支喘息—急性発作に対する治療	
.....森田 寛	282(2)
成人気管支喘息—慢性喘息の管理	
長坂 行雄・藤田 悦生・波津 龍平	286(2)
小児気管支喘息	小田嶋 博 290(2)
アレルギー性鼻炎	馬場廣太郎 294(2)
アトピー性皮膚炎	片山 一朗 298(2)
アレルゲンからの回避(特にダニ対策)	
.....佐々木 聖	303(2)
気管支喘息の新しい治療と管理における患者教育の実際	灰田美知子 309(2)
〈特殊なアレルギー〉	
ハチアレルギー	山田 吾郎 314(2)
食物アレルギー	向山 徳子 318(2)
薬物アレルギー	中島 宏和・福田 健 322(2)
〈アレルギー性疾患治療の最近の話題〉	
免疫抑制療法	美濃口健治・足立 満 326(2)
急速減感作療法	田部 一秋・坂本 芳雄 331(2)
経口減感作療法	

.....須甲 松伸・佐藤 元	337(2)
〈アレルギー疾患治療の将来的展望〉	
高親和性IgEレセプター(FcεRI)を標的にした肥満細胞活性化の制御	羅 智晴・
Pawankar = Ruby・西山 千春	341(2)
特異的サイトカイン抑制薬	
.....森 晶夫・奥平 博一	346(2)
T細胞ワクチネーション/ペプチド療法	
岩本 逸夫・中川 典明・倉沢 和宏	351(2)
今月の主題・理解のための31題	355(2)
解答	365(2)

消化器疾患の低侵襲治療手技

〈消化器系低侵襲治療手技の glossary〉	
.....上野 文昭	416(3)
〈食道疾患〉	
食道疾患に対する低侵襲治療手技—現状と展望	幕内 博康 418(3)
食道静脈瘤—内視鏡的硬化療法	
.....大政 良二・鈴木 博昭	421(3)
食道静脈瘤—内視鏡的結紮術	
遠藤 徹・大舘 敬一・草刈 幸次	424(3)
食道腫瘍—食道表在癌に対する内視鏡的粘膜切除術	
青木 純・幕内 博康・三輪 剛	428(3)
食道腫瘍—胸腔鏡的・腹腔鏡的アプローチ	
井上 晴洋・河野 辰幸・遠藤 光夫	432(3)
食道狭窄	
嶋尾 仁・森瀬 昌樹・比企 能樹	434(3)
〈胃・十二指腸疾患〉	
胃・十二指腸疾患に対する低侵襲治療手技—現状と問題点	
多田 正弘・時山 裕・沖田 極	439(3)
胃・十二指腸出血	高橋 寛・藤田 力也 442(3)
胃静脈瘤	
豊永 純・酒井 照博・於保 和彦	446(3)
胃腫瘍—内視鏡的アプローチ	
鳥居 恵雄・西川 温博・三浦 賢佑	450(3)
胃腫瘍—腹腔鏡的アプローチ	
大谷 吉秀・大上 正裕・北島 政樹	454(3)
胃腫瘍—経胃瘻的アプローチ	村井 隆三 458(3)
〈腸疾患〉	
腸疾患に対する低侵襲治療手技—現状と展望	
酒井 義浩・鴻上 健一・藤沼 澄夫	463(3)
大腸出血性病変	永谷 京平 466(3)
大腸ポリープと早期癌—内視鏡的アプローチ	
.....豊永 高史・廣岡 大司	469(3)
大腸ポリープと早期癌—腹腔鏡的アプローチ	
澤田 俊夫・河村 裕・武藤徹一郎	472(3)
進行大腸癌に対する腹腔鏡補助下手術	
.....宮島 伸宜・山川 達郎	475(3)

直腸腫瘍	金平 永二・大村 健二・渡辺 洋宇	478(3)
炎症性腸疾患	渡邊 昌彦・日比 紀文・北島 政樹	481(3)
〈膵・胆道系疾患〉		
胆膵疾患に対する低侵襲治療手技—現状と展望	中島 正継・安田健治朗・平野 誠一	486(3)
慢性膵炎	平田 信人・竹熊 与志・串田 誉名	490(3)
膵仮性嚢胞	古屋 直行・武川 建二・長谷部 修	493(3)
胆嚢内結石	門田 俊夫	496(3)
総胆管結石	伊藤 慎芳	499(3)
〈肝疾患〉		
肝疾患に対する低侵襲治療手技—現状と展望	奥瀬 千晃・岩渕 省吾	503(3)
肝細胞癌—肝動脈塞栓術(TAE)	磯部 義憲	506(3)
肝細胞癌—経皮的エタノール注入療法(PEIT)	椎名秀一朗・今村 雅俊・小俣 政男	510(3)
肝膿瘍	柴田 実・三田村圭二	512(3)
肝嚢胞	六倉 俊哉	515(3)
〈その他の消化器系低侵襲治療手技〉		
経皮内視鏡的胃瘻造設術	鈴木 裕・久保 宏隆・青木 照明	520(3)
経頸静脈的肝内門脈大循環短絡路形成術(TIPS)	住野 泰清・山室 渡	523(3)
今月の主題・理解のための28題		529(3)
解答		574(3)
高血圧の治療—新しい時代を迎えて		
〈総論〉		
高血圧治療の進め方	島田 和幸	586(4)
〈大規模臨床試験の成績から〉		
欧米の現況と方向	松岡 博昭	591(4)
日本の現況と方向	瀧下 修一	595(4)
〈高血圧ガイドラインから〉		
高血圧ガイドライン—欧米の考え方	築山久一郎・大塚 啓子	600(4)
老年者高血圧の治療指針	荻原 俊男	605(4)
〈家庭血圧・24時間血圧測定の意義〉		
血圧測定装置の信頼性	川崎晃一・土橋 卓也	609(4)
日常臨床における活用法	大塚 邦明	614(4)
〈降圧療法のベース〉		
運動療法処方の実際	川久保 清	620(4)
食事療法・生活指導	南 順一・河野 雄平	623(4)
降圧薬の減量・中止とコンプライアンス	関 顕	626(4)

〈降圧療法の最前線〉		
夜間の血圧	大久保孝義・今井 潤	630(4)
早朝の高血圧	桑島 巖・生沼 幸子	634(4)
白衣(性)高血圧の管理	齊藤 郁夫	639(4)
〈見直される降圧薬〉		
カルシウム拮抗薬論争	猿田 享男	643(4)
ACE阻害薬のポテンシャル	川口 秀明	646(4)
アンジオテンシンII受容体拮抗薬への期待	後藤 淳郎	651(4)
α 遮断薬の利点	三浦 幸雄	656(4)
利尿薬・ β 遮断薬を擁護する	小澤 利男	660(4)
T/P比の意義と限界	長谷部直幸・菊池健次郎	663(4)
〈合併症を伴う高血圧—個別治療の実際〉		
急性期脳血管障害	篠原 幸人	668(4)
慢性期脳血管障害	伊藤 泰司・松本 昌泰	673(4)
高血圧性心疾患	日和田邦男	676(4)
虚血性心疾患	松浦 秀夫	681(4)
腎疾患	中村 哲也	686(4)
糖尿病	片山 茂裕	691(4)
高脂血症	芦田 映直	695(4)
高血圧緊急症	高橋 伯夫	699(4)
妊娠	三品 直子・成瀬 光栄	703(4)
成瀬 清子・関 敏郎・出村 博		703(4)
小児・若年者高血圧とその治療	海老原昭夫	706(4)
〈セミナー・病態と降圧薬〉		
脳循環	藤島 正敏	711(4)
腎循環	鈴木 洋通	714(4)
心肥大・動脈硬化	星野 洋一・永井 良三	718(4)
インスリン抵抗性と肥満	久代登志男・飯田慎一郎・上松瀬勝男	722(4)
〈対談〉		
高血圧—最近の話題	島田 和幸・島本 和明	727(4)
今月の主題・理解のための30題		739(4)
解答		761(4)
日常臨床にみる水・電解質と酸塩基平衡		
〈Editorial〉		
日常臨床の「水・電解質と酸塩基平衡異常」	田部井 薫	804(5)
〈各種疾患にみられる水・電解質、酸塩基平衡異常〉		
心不全	江幡 理・草野 英二	807(5)
肝硬変	前波 輝彦	810(5)
糖尿病	鈴木 幹子・福原 吉典	813(5)
消化器疾患	本間寿美子	816(5)
悪性腫瘍	大河原 晋・田部井 薫	821(5)

腎不全	
斎藤 修・武田 茂幸・浅野 泰	824(5)
薬剤性	高山 政之・篠田 俊雄 827(5)
〈水・電解質と酸塩基平衡異常へのアプローチ〉	
血漿浸透圧の測定と臨床的意義	清水 倉一・山田 耕永 831(5)
尿中電解質の測定と臨床的意義	小椋 陽介・酒井 聡一 834(5)
血液ガスの測定と臨床的意義	花房 規男・奥田 俊洋 838(5)
〈水代謝とその異常〉	
水調節系	斎藤 孝子・石川 三衛 843(5)
浮腫の病態と診断	渡邊 卓哉・菱田 明 847(5)
脱水の病態と診断	佐中 孜 850(5)
浮腫の治療	葉山 修陽 853(5)
脱水の治療	石橋 賢一 856(5)
〈Na代謝とその異常〉	
Na調節系	
嶋田 英敬・野々口博史・富田 公夫	861(5)
高 Na 血症の鑑別診断	岡本日出数・川村 哲也 864(5)
低 Na 血症の鑑別診断	木村玄次郎 867(5)
高 Na 血症の治療	安藤 高志・吉富 宏治 870(5)
低 Na 血症の治療	田村 博之・秋葉 隆 873(5)
〈K代謝とその異常〉	
腎性 K 調節系	林 松彦 877(5)
腎外性 K 調節系	古谷 裕章 881(5)
K代謝と酸塩基平衡	竹本 文美 884(5)
高 K 血症の鑑別診断	森 貴博・飯野 靖彦 888(5)
低 K 血症の鑑別診断	武藤 重明 891(5)
高 K 血症の治療	小野田教高・栗原 怜 894(5)
低 K 血症の治療	安藤 康宏 897(5)
〈酸塩基平衡とその異常〉	
酸塩基平衡と調節系—腎	
根東 義明・永野千代子・飯沼 一字	901(5)
酸塩基平衡と調節系—肺	矢野新太郎 904(5)
代謝性アシドーシスの鑑別診断	塚本 雄介 906(5)
代謝性アルカローシスの鑑別診断	
緒方 浩顕・里見 明代・衣笠えり子	909(5)
呼吸性アシドーシス・アルカローシスの鑑別診断	大野 彰二 912(5)
腎尿細管性アシドーシスの鑑別診断	
野々口博史・中山 裕史・富田 公夫	914(5)
代謝性アシドーシスの治療	

……………柴垣 有吾・内田 俊也	918(5)
代謝性アルカローシスの治療	
……………小岩 文彦・秋澤 忠男	923(5)
呼吸性アシドーシス・アルカローシスの治療	
……………檀原 高・福地義之助	926(5)
〈水・電解質、酸塩基平衡異常における最近のトピックス〉	
水・電解質、酸塩基平衡調節機構の遺伝子解析	鈴木 誠 930(5)
今月の主題・理解のための 36 題	935(5)
解答	1010(5)

白血病—日常の診療に必要な知識

〈Editorial〉	
白血病治療—患者の求めているもの	中村 忍 1020(6)
〈白血病発症のメカニズムと疫学〉	
造血のしくみと白血病化—白血病を理解するために	北村 聖 1023(6)
現在考えられている白血病の原因	澤田 賢一 1033(6)
染色体異常と遺伝子異常	
鎌田 七男・新谷 貴洋	1036(6)
白血病発症の頻度—最近の動き	鈴木 久三・福谷 久 1042(6)
〈急性白血病〉	
症状と診断—急性白血病を見逃さないために	志越 顕・梅田 正法 1046(6)
分類と問題点	松尾 辰樹・栗山 一孝 1052(6)
〔薬物療法—スタンダードな治療法と期待される効果〕	
治療の理念と治療法選択の考え方	
井野 晶夫・宮崎 仁	1058(6)
成人急性非リンパ性白血病	大竹 茂樹 1063(6)
成人急性リンパ性白血病	竹内 仁 1068(6)
小児白血病の特殊性と治療	小泉 晶一 1075(6)
〈慢性白血病〉	
慢性骨髄性白血病の診断と治療	
小山 覚	1082(6)
慢性リンパ性白血病の診断と治療—リンパ腫との異同について	本村 茂樹 1086(6)
〈骨髄異形成症候群(myelodysplastic syndromes, MDS)〉	
診断—wastebasket とならないための注意点	
岡本 隆弘・金丸 昭久	1091(6)
治療のタイミングと治療法の選択	
上田 孝典・浦崎 芳正	1094(6)
〈日常診療に必要な特殊な白血病に関する知識〉	
高齢者白血病の治療法の選択と QOL	
森 真由美	1097(6)

低形成性白血病の治療法	
土橋 史明・薄井 紀子・倉石 安庸	1100(6)
急性混合型白血病(Acute Mixed Lineage Leukemia)	柏村 真 1103(6)
二次性白血病の発症要因と治療・予防	
友安 茂・柿本 綱之	1108(6)
成人 T 細胞性白血病の診断・治療・予防	
江上康一郎	1112(6)
慢性好中球性白血病の診断基準と治療	
三浦 亮	1115(6)
〈白血病に対する造血幹細胞移植〉	
移植の決定—患者への説明から移植のタイミングまで	王 伯銘 1118(6)
幹細胞の source の選択—自家・血縁者・非血縁者/骨髄・末梢血	奥村 廣和 1122(6)
移植の実際と移植後の問題点	榎藤 久司 1125(6)
〔移植の成績—長期予後と社会復帰〕	
急性白血病	森島 泰雄・田地 浩史 1132(6)
慢性骨髄性白血病の骨髄移植	
小池 正	1137(6)
わが国の骨髄バンクの現状と登録方法	
濱口 元洋・小寺 良尚	1143(6)
〈補助療法・一般管理・QOL〉	
感染症対策—無菌管理・発熱時の処置・抗生剤の選択方法を中心に	手島 博文 1146(6)
出血傾向対策—血小板輸血の目安と DIC 対策	
石田 明・池田 康夫	1150(6)
栄養療法	田中 健 1154(6)
妊娠に合併した白血病	
河村 節子・名久井結佳・玉井 佳子	1157(6)
QOL を考慮した外泊・退院のタイミングと退院後の管理	許 泰一 1160(6)
白血病患者への説明と精神的なケア—告知の問題	
田村 和夫	1164(6)
〈座談会〉	
白血病診療の実際と近未来—期待される新しい治療法	朝長万左男・堀田 知光・塩原信太郎・中村 忍 1169(6)
今月の主題・理解のための 26 題	1185(6)
解答	1235(6)

頭痛とめまいの外来診療

〈Editorial〉

頭痛とめまい	濱口 勝彦 1248(7)
--------	---------------

〈頭痛の理解を深めるために〉

頭痛の発現機序	下村登規夫 1250(7)
頭痛の分類と鑑別診断	畑 隆志 1255(7)
頭痛の問診	内山真一郎 1262(7)
頭痛の身体所見	五十嵐久佳 1267(7)

頭痛の随伴症状	北川 泰久 1271(7)
頭痛と眼症候	若倉 雅登 1275(7)
一般外来における頭痛の検査の進め方	
星野 晴彦	1278(7)
頭痛と家族歴	海野 佳子 1281(7)
〈頭痛の適切な鑑別診断と患者管理のために〉	
救急処置の必要な頭痛	阿久津二夫 1287(7)
くも膜下出血の CT・MRI	
小川 敏英・奥寺 利男	1292(7)
三叉神経痛の診断と治療	
竹信 敦充・堀 智勝	1294(7)
頸椎症と頭痛	持田 譲治 1297(7)
血管性頭痛の患者管理	作田 学 1299(7)
緊張型頭痛の患者管理	寺本 純 1303(7)
薬と頭痛	山本 正博 1306(7)
〈めまいの正確な診断のために〉	
めまいの病態生理	渡辺 行雄 1312(7)
めまいの分類と鑑別診断	八木 聡明 1316(7)
めまいの問診	吉井 文均 1321(7)
めまいの診断に必要な神経学的診察	
和泉 唯信・宇高不可思・亀山 正邦	1326(7)
一般外来におけるめまいの検査の進め方	
岡安 裕之	1330(7)
めまいにみられる眼症候	
長谷川 修・小宮山 純	1334(7)
聴覚平衡機能検査をどのように読むか	
徳増 厚二	1337(7)
めまい患者の画像診断 MR 画像を中心に	
渡部 恒也	1340(7)
〈めまいの適切な治療のために〉	
救急処置の必要なめまい	
副島 京子・堀 進悟	1345(7)
末梢前庭性めまい	
神崎 仁・倉島 一浩	1350(7)
メニエール病	矢沢代四郎 1356(7)
めまいと立ちくらみ	
野村 恭一・島津 邦夫	1359(7)
椎骨脳底動脈循環不全とめまい	
高田 潤一・井林 雪郎	1363(7)
全身疾患とめまい	
鈴木 雅裕・茅野 真男	1367(7)
めまいの治療と患者指導—内科から	
田中耕太郎	1370(7)
めまいの治療と患者指導—耳鼻科から	
山下 裕司・高橋 正紘	1375(7)
薬とめまい	石川 良樹 1379(7)
〈対談〉	
プライマリ・ケアにおける頭痛とめまい—一日米の医療事情	亀井 徹正・木村 真司 1383(7)
今月の主題・理解のための 35 題	1397(7)

解答 1452(7)

循環器薬の使い方 1997

〈循環器薬はどの病態の予後を改善するか〉

カルシウム拮抗薬

石川 欽司・竹中 俊彦・金政 健 1460(8)
β遮断薬横田 慶之・川合 宏哉 1465(8)
ACE 阻害薬.....上野 修市・島田 和幸 1471(8)
強心薬百村 伸一 1477(8)
抗不整脈薬相澤 義房・馬 梅蕾 1483(8)
抗高脂血症薬嶋津 伸子・寺本 民生 1487(8)
抗血小板薬本宮 武司 1491(8)

〈心不全〉

心不全の病態と治療薬の選択

.....山川 英之・横山 光宏 1495(8)

急性心不全の治療

.....河野 龍而・弘田 雄三 1501(8)

ACE 阻害薬の使い方.....山崎 力 1504(8)

ジギタリスと経口強心薬の使い方

.....佐藤 友英 1506(8)

β遮断薬の使い方

.....葛本 尚慶・木之下正彦 1510(8)

〈狭心症〉

狭心症の病態と治療薬の選択

.....廣 高史・松崎 益徳 1515(8)

狭心症に対する薬物治療とインターベンションの選
択今本 諭・土師 一夫 1521(8)

硝酸薬の使い方

.....日浅 芳一・高橋 健文 1524(8)

β遮断薬の使い方

.....門田 一繁・光藤 和明 1527(8)

カルシウム拮抗薬の使い方

.....中島 啓喜・田村 勤 1531(8)

抗血小板薬・抗凝固薬の使い方

.....小笠原 憲 1535(8)

〈急性心筋梗塞〉

急性心筋梗塞の病態と治療の基本

.....桃原 哲也・住吉 徹哉 1538(8)

血栓溶解薬の使い方高山 守正 1542(8)

抗血小板薬・抗凝固薬の使い方

.....樫田 光夫 1547(8)

ACE 阻害薬の使い方

.....辻 正純・斎藤 穎 1550(8)

〈不整脈〉

上室頻拍の発生機序と治療薬の選択

.....池田 隆徳 1553(8)

心室頻拍の発生機序と治療薬の選択

.....岡部 輝雄・小川 聡 1557(8)

頻拍に対する薬物療法とアブレーションの選択

.....大西 哲・笠貫 宏 1561(8)

心房細動に対する薬物治療の選択と使い方

.....杉 薫・野呂 真人 1565(8)

クラス群薬の使い方飯沼 宏之 1569(8)

クラス群薬の使い方山口 巖 1573(8)

〈高血圧〉

高血圧の病態と治療の基本

.....安東 克之・藤田 敏郎 1577(8)

α遮断薬・β遮断薬の使い方

土橋 和文・宮本憲次郎・島本 和明 1585(8)

ACE 阻害薬の使い方.....齊藤 郁夫 1588(8)

カルシウム拮抗薬の使い方と問題点

.....関 顕 1593(8)

〈高脂血症〉

高脂血症の病態と治療の基本

.....村上 透・山田 信博 1597(8)

高コレステロール血症に対する治療薬の選択と使い
方武城 英明・齋藤 康 1603(8)

高中性脂肪血症に対する治療薬の選択と使い方

.....中谷 矩章 1606(8)

〈心筋症〉

肥大型心筋症に対する治療薬の選択と使い方

濱田 希臣・重松 裕二・児玉 光司 1610(8)

拡張型心筋症に対する治療薬の選択と使い方

.....堀 知行・和泉 徹 1613(8)

〈その他の循環器疾患〉

低血圧症に対する治療薬の選択と使い方

.....宇井 進・木村 満 1617(8)

閉塞性動脈硬化症に対する薬物治療の選択と使い方

.....西澤 茂樹・坪井 寛則 1621(8)

大動脈瘤に対する薬物治療の選択と使い方

.....増田 善昭 1624(8)

感染性心内膜炎に対する薬物治療の選択と使い方

.....中村 憲司 1627(8)

今月の主題・理解のための 34 題..... 1631(8)

解答 1690(8)

外来診療でここまでできる

〈血液疾患・感染症〉

心内膜炎玉野 宏一・竹田 幸一 1698(9)

腎盂腎炎吉岡 俊昭 1700(9)

感染性腸炎

井上 冬彦・深田 雅之・杉坂 宏明 1703(9)

MRSA 感染症.....力富 直人 1707(9)

非定型抗酸菌症

.....田中 栄作・網谷 良一 1710(9)

真菌症(1)クリプトコッカス髄膜炎

.....有岡 仁・大田 健 1713(9)

真菌症(2)白血病患者のカンジダ肝膿瘍

.....淡谷 典弘・木崎 昌弘 1716(9)

AIDS 症例の外来でできる治療と予防法

.....菊池 嘉・岡 慎一	1718(9)
悪性リンパ腫	田口 博國 1722(9)
リンパ節生検.....	門田 俊夫 725(9)
〈循環器疾患〉	
冠動脈造影	森野 禎浩・田村 勤 1729(9)
経皮経管冠動脈形成術(PTCA)	
.....	齋藤 滋 1732(9)
発作性頻拍	新 博次 1737(9)
急性心筋梗塞	石田 秀一・林田 憲明 1740(9)
高血圧・動脈硬化	北島 武之 1743(9)
〈消化器疾患〉	
食道狭窄(良性・悪性)拡張術・ステント留置	
嶋尾 仁・森瀬 昌樹・堤 修	1747(9)
消化管出血	六倉 俊哉 1750(9)
ポリペクトミーと内視鏡的粘膜切除術(EMR)	
.....	小林 文徳・板倉 勝 1753(9)
炎症性腸疾患急性再燃	
岩男 泰・渡辺 守・日比 紀文	1757(9)
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)	
平田 信人・竹熊 与志・藤田 力也	1760(9)
急性肝炎	阿部 和裕・宮川 浩 1762(9)
肝生検	柴田 実 1764(9)
治療的腹水ドレナージ	
.....	山室 渡・住野 泰清 1766(9)
〈呼吸器疾患〉	
肺炎	高橋 幸則 1771(9)
睡眠無呼吸検査	
神尾 和孝・小野 容明・太田 保世	1774(9)
〈腎疾患〉	
透析患者の外来手術	
.....	中川 芳彦・寺岡 慧・阿岸 鉄三 1778(9)
ネフローゼ症候群	安藤 康宏 1783(9)
持続的外来腹膜透析(CAPD)	
.....	窪田 実 1787(9)
〈内分泌・代謝疾患〉	
内分泌的負荷試験	板東 浩 1791(9)
糖尿病の治療	石田 俊彦 1795(9)
〈神経疾患〉	
脳血管障害	星野 晴彦・高木 誠 1799(9)
未破裂脳動脈瘤	中川 俊男 1802(9)
意識障害患者の在宅栄養管理	小川 滋彦 1805(9)
〈膠原病(リウマチ)・アレルギー疾患〉	
リウマチ性疾患における生検手技	
.....	諏訪 昭 1809(9)
〈日帰り手術〉	
日帰り手術	篠崎 伸明 1813(9)
今月の主題・理解のための32題.....	1819(9)
解答	1868(9)

肺炎と肺臓炎

〈知っておくべき肺炎の基本的アプローチ〉

どのような患者が肺炎に罹患しやすいかー肺炎と生体の防御機構

.....吉嶺 裕之・永武 毅 1876(10)

どういうときに肺炎を疑うか

.....前野 哲博・伴 信太郎 1879(10)

肺炎を疑ったら行うこと

松村 理司 1883(10)

肺炎のマネジメントー抗生剤投与以外に必要なこと

井上 雅樹 1888(10)

外来で治療できる肺炎・入院が必要な肺炎ー判断のポイント

中浜 力 1892(10)

〈患者の背景・病態・検査データから原因菌を予測して治療する〉

元気な若い人の肺炎

岸本 寿男 1895(10)

高齢者の肺炎

青木 眞 1898(10)

喫煙者・COPD 患者における肺炎

.....

陶山 時彦 1901(10)

インフルエンザ罹患後の肺炎

古川 恵一 1905(10)

意識障害患者の肺炎

武田 多一 1908(10)

術後合併症としての肺炎

.....

福家 伸夫・諏訪 邦夫 1912(10)

ICU における肺炎

.....

大滝 美浩・遠藤 和郎 1916(10)

免疫能の低下した患者の肺炎

北原 光夫 1920(10)

HIV 陽性者の肺炎

安岡 彰 1924(10)

〈特殊な感染症が鑑別にあげられるとき〉

ニューモシスチス・カリニ肺炎の診断と治療ー最新情報

齋藤 昭彦 1929(10)

結核の診断と治療ー最近の動向

.....

森 亨 1932(10)

非定型抗酸菌症の診断と治療

齋藤 武文・大瀬 寛高・長谷川鎮雄 1934(10)

〈肺炎の治療に困ったら〉

治療に反応しない肺炎患者へのアプローチ

.....

山口 哲生 1937(10)

〈ベッドサイドで役に立つ肺臓炎(間質性肺炎)の基礎知識〉

肺炎と肺臓炎はどう異なるかー病歴・症状・身体所見

古田島 太・佐藤 哲夫 1942(10)

肺炎と肺臓炎はどう異なるかー画像所見

小場 弘之・吉田 和浩・大内 博文 1946(10)

肺炎と肺臓炎はどう異なるかー病理組織所見

河端 美則 1951(10)

〈わかりやすい鑑別診断の立てかたと基本的アプローチ〉

間質性肺炎を疑う患者の診断へのアプローチ

.....

河崎 伸・滝沢 始 1956(10)

検査所見からみた肺臓炎(間質性肺炎)の鑑別診断

.....

多田 慎也 1960(10)

急性・亜急性の経過で胸部 X 線・CT に間質影を生じる疾患

佐藤 潤・千田 金吾・佐藤 篤彦 1965(10)

慢性の経過で胸部 X 線・CT に間質影を認める疾患

……………土井 修 1972(10)

肺臓炎をきたしうる薬剤一覧

古澤 靖之・澤田めぐみ・瀧 玲子 1976(10)

〈一般医に求められる肺臓炎(間質性肺炎)診療の考えかた〉

急性・亜急性に経過する肺臓炎の診断と治療

……………田口 善夫 1982(10)

慢性に経過している間質性肺炎患者をいつ専門医に紹介するか

……………大塚 盛男 1986(10)

肺臓炎の治療法の選択とタイミング

……………長井 苑子・泉 孝英 1988(10)

〈肺臓炎(間質性肺炎)の患者があなたの外来を受診したら〉

肺臓炎(間質性肺炎)患者を外来でフォローするときのポイント

……………高橋 亨 1994(10)

肺臓炎(間質性肺炎)患者のための在宅酸素療法

……………坪井 永保・中田絃一郎 1997(10)

〈付録〉研修医のための抗生物質早分り

……………武田 裕子 2001(10)

今月の主題・理解のための 29 題…………… 2009(10)

解答 …………… 2056(10)

臨床医のための遺伝子工学

〈Editorial〉

臨床医にとっての遺伝子工学とは

……………森下 竜一 2066(12)

〈遺伝子の基礎知識〉

染色体の構造と遺伝子 ……………服巻 保幸 2068(12)

遺伝子の構造と機能 ……………藤澤 順一 2076(12)

転写因子 ……………河邊 拓己・岡本 尚 2081(12)

遺伝子の変異と疾患の発症

……………山縣 和也・松沢 佑次 2086(12)

〈ベッドサイドで可能な遺伝子診断〉

遺伝子診断概論：遺伝子解析と診断

……………田中 一 2090(12)

心疾患解析

……………広井 知歳・木村 彰方・永井 良三 2096(12)

内分泌代謝領域

……………高橋 義彦・門脇 孝 2100(12)

高血圧解析

……………勝谷 友宏・松垣 實男・荻原 俊男 2104(12)

腎疾患解析 ……………桑原 道雄・丸茂 文昭 2108(12)

内分泌疾患解析

……………藤原 裕和・巽 圭太・網野 信行 2112(12)

動脈硬化症の遺伝子診断 ……………一瀬 白帝 2117(12)

〈遺伝子工学の臨床への応用〉

〔基礎知識—遺伝子工学とは?〕

トランスジェニック技術 ……………宮崎 純一 2120(12)

ノックアウト技術 ……………深水 昭吉 2125(12)

生体への遺伝子導入の方法

……………山野 智基・金田 安史 2130(12)

〔疾患解析への応用〕

自己免疫疾患 ……………改正 恒康 2134(12)

血液疾患 ……………平井 久丸・本田 浩章 2136(12)

消化器疾患 ……………浅部 伸一・井廻 道夫 2139(12)

呼吸器疾患 ……………菊地 利明・貫和 敏博 2142(12)

老化 ……………名倉 潤・三木 哲郎 2146(12)

発癌解析 ……………野田 朝男 2150(12)

〈疾患治療への遺伝子工学の応用：遺伝子治療に向けて〉

〔日本での現状〕

遺伝子治療の現状 ……………小澤 敬也 2155(12)

先天性疾患の遺伝子治療—アデノシンデアミナーゼ

欠損症を中心に ……………崎山 幸雄 2160(12)

HIV 感染症に対する遺伝子治療

……………松下 修三 2163(12)

癌の遺伝子治療：癌抑制遺伝子療法

……………藤原 俊義・田中 紀章 2167(12)

癌の遺伝子治療：免疫遺伝子治療

……………谷 憲三朗 2171(12)

〔これからの遺伝子治療〕

循環器疾患の遺伝子治療

……………米満 吉和・古森 公浩・杉町 圭蔵 2177(12)

自己免疫疾患(リウマチ)の遺伝子治療

……………富田 哲也・越智 隆弘 2180(12)

脳疾患の遺伝子治療

……………夏目 敦至・吉田 純 2184(12)

腎疾患の遺伝子治療

……………富田奈留也・松垣 實男・荻原 俊男 2188(12)

〈遺伝子工学のトピックス〉

核酸医薬の臨床応用 ……………青木 元邦・

……………森下 竜一・松垣 實男・荻原 俊男 2191(12)

クローン技術 ……………小関 良宏 2195(12)

ジーンタイトレーション ……………松川 直道 2198(12)

遺伝子工学を利用した医薬品開発

……………宮崎 洋 2202(12)

リボザイム ……………菊池 洋 2205(12)

〈理解のためのキーワード一覧〉 …………… 2208(12)

疾患索引 …………… 2209(12)

今月の主題・理解のための 26 題…………… 2211(12)

解答 …………… 2276(12)

脳卒中プラクティス

〈Overview〉

脳卒中診療の昨日・今日・明日

……………松岡 秀樹・峰松 一夫 2284(13)

<脳卒中診療のための基礎知識予防と病型分類>

脳卒中の危険因子と発症予防	清原 裕 2286(13)
心疾患に対する対応	山之内 博 2289(13)
血管病変の検出と対応	寶學 英隆・松本 昌泰・堀 正二 2293(13)
脳卒中の病型分類	奥田 聡 2296(13)
<発症時の外来診療のポイント>	
初診時の問診・診察の流れ	高木 誠 2301(13)
頭痛・めまい・しびれと脳卒中	秋口 一郎 2305(13)
一過性脳虚血発作への対応	西丸 雄也 2309(13)
入院・転送の判断とそのタイミング	原 靖幸・橋本洋一郎・寺崎 修司 2312(13)
<診断・治療のための諸検査>	
一般検査血液・髄液・胸部 X 線・心電図など	立花 久大 2317(13)
急性期の頭部 CT・MRI	北川 泰久 2320(13)
動脈病変の診断超音波検査	半田 伸夫・杉谷 義憲 2325(13)
動脈病変の診断脳血管造影・MRA	上原 敏志 2330(13)
脳血流の測定 SPECT	中川原譲二 2335(13)
心疾患の検索心電図・超音波検査など	矢坂 正弘 2338(13)
診断法のトピックスーdiffusion MRI, perfusion MRI	長谷川泰弘 2341(13)
<超急性期(発症数時間以内)治療現状と問題点>	
血栓溶解療法	森 悦朗 2345(13)
脳保護薬・脳低温療法	松本 昌泰・堀 正二・柳原 武彦 2348(13)
<急性期の治療>	
脳卒中急性期治療の原則	棚橋 紀夫 2353(13)
心原性脳塞栓症の急性期治療	岡田 靖 2356(13)
アテローム血栓性脳梗塞の急性期治療	長尾 毅彦・濱本 真・赫 彰郎 2361(13)
ラクナ梗塞の急性期治療	早川 功 2366(13)
脳出血の急性期治療	川村 伸悟・安井 信之 2371(13)
くも膜下出血の急性期治療	鈴木 倫保・小川 彰 2374(13)
急性期脳合併症(脳浮腫・出血性梗塞など)の治療	永積 惇 2378(13)
進行性の症例に対する対応	米原 敏郎・徳永 誠・松本 典子 2384(13)
急性期のリハビリテーション	蜂須賀研二 2388(13)
<慢性期の管理>	
各病型の長期予後と再発の実態	横田 千晶 2391(13)

心原性脳塞栓症の長期管理	内山真一郎 2394(13)
アテローム血栓性脳梗塞・ラクナ梗塞の長期管理	紺野 衆・東儀 英夫 2397(13)
脳梗塞の外科的再発予防 CEA を中心に	塚原 徹也 2400(13)
危険因子管理特に血圧管理	井林 雪郎 2403(13)
脳循環代謝改善薬は有効か	長田 乾 2407(13)
<付録>	
脳卒中治療薬一覧および外科的治療一覧	松岡 秀樹 2412(13)
今月の主題・理解のための 32 題	2415(13)
解答	2460(13)

[カラーグラフ 塗抹標本をよく見よう]

13. 白血病(3)	
久保西一郎・藤田 智代・森澤 美恵	
浜田 恭子・高橋 功・三好 勇夫	145(1)
14. 骨髄異形成症候群・顆粒球増加	
久保西一郎・藤田 智代・森澤 美恵	
浜田 恭子・高橋 功・三好 勇夫	369(2)
15. 顆粒球	
久保西一郎・藤田 智代・森澤 美恵	
浜田 恭子・高橋 功・三好 勇夫	547(3)

[カラーグラフ 感染症グローバリゼーション]

1. 目で見えるマラリア対策(1)マラリアの疫学	金子 明 747(4)
2. 目でみるマラリア対策(2)マラリアの診断	金子 明 953(5)
3. 目で見えるマラリア対策(3)マラリアの化学療法	金子 明 1193(6)
4. 目でみるマラリア対策(4)南太平洋バヌアツの人類とマラリアおよびその対策	金子 明 1413(7)
5. 節足動物媒介性原虫疾患一特にトリパノソーマ症について	西山 利正 1639(8)
6. 節足動物媒介性原虫疾患一リーシュマニア原虫疾患	西山 利正 1835(9)
7. 消化器系寄生虫性疾患(1)赤痢アメーバ症	西山 利正 2019(10)
8. 消化器系寄生虫性疾患(2)最近話題になっている消化管原虫症	西山 利正 2223(12)
9. 国際的に再び広がりを見せている住血吸虫	西山 利正 2433(13)

[目でみるトレーニング]

問題 107	村木 正人 137(1)
108	谷山 義明 138(1)
109	柴田 実 139(1)
110	和泉 匡洋 377(2)

111	貞森 直樹	378(2)
112	松永 厚生	379(2)
113	貞森 直樹	539(3)
114	柴田 実	540(3)
115	小林 剛	541(3)
116	秋庭 宏紀	755(4)
117	南沢佐代子	756(4)
118	井上 耕一	757(4)
119	貞森 直樹	945(5)
120	広谷 信一	946(5)
121	富永 現	947(5)
122	貞森 直樹	1201(6)
123	石田 一彦	1202(6)
124	西川 永洋	1203(6)
125	貞森 直樹	1405(7)
126	石橋 大海	1406(7)
127	加来 倭磨	1407(7)
128	貞森 直樹	1645(8)
129	徳光陽一郎	1646(8)
130	長井 篤	1647(8)
131	加来 倭磨	1827(9)
132	道免 和文	1828(9)
133	貞森 直樹	1829(9)
134	長井 篤	2027(10)
135	小場 弘之	2028(10)
136	高橋 和弘	2029(10)
137	貞森 直樹	2229(12)
138	土屋 喜裕	2230(12)
139	長井 篤	2231(12)
140	長井 篤	2425(13)
141	大内 博文	2426(13)
142	白浜 正文	2427(13)

〔演習・腹部 CT の読みかた〕

1.	腹部 CT 読影の基本—造影 CT	岩田 美郎	774(4)
2.	食道静脈瘤の既往のある 50 歳の男性	岩田 美郎	969(5)
3.	肝腫瘍の疑いのある 65 歳の患者	遠藤じゅん・岩田 美郎	1217(6)
4.	超音波検査で肝に異常の指摘された 56 歳の男性	岩田 美郎	1425(7)
5.	上腹部痛で発症した 79 歳の男性	遠藤じゅん・岩田 美郎	1841(9)
6.	発熱を主訴とした 64 歳の女性	岩田 美郎	2242(12)

〔図解・病態のメカニズム 腎疾患〕

1.	Alport 症候群	吉岡加寿夫	151(1)
2.	Bartter 症候群		

.....柴垣 有吾・藤田 敏郎	385(2)
3. Gitleman 症候群	柴垣 有吾・内田 俊也 555(3)
4. Liddle 症候群	佐々木 成 765(4)
5. K+チャンネルとその異常	鈴木 誠 959(5)
6. クロライドチャンネルとその異常	篠崎 倫哉・吉富 宏治 1207(6)
7. 水チャンネルとその異常	伏見 清秀 1441(7)
8. AVP 受容体とその異常	横山 建二・山内 淳・今井 圓裕 1657(8)
9. ミネラルコルチコイド受容体と 11 β -hydroxy-steroid dehydrogenase	武藤 重明 1855(9)
10. NO と腎	草野 英二・海野 鉄男 2033(10)
11. ACE gene polymorphism	坪井 伸夫・吉田 裕明 2235(12)
12. 多発性嚢胞腎	柏木 哲也・飯野 靖彦・赫 彰郎 2439(13)

〔内科医が知っておきたい小児科学・最近の話題〕

1.	腸管出血性大腸菌とその合併症	五十嵐 隆	155(1)
2.	わが国における HIV 母子感染の現状	奥山 伸彦	393(2)
3.	小児のてんかん性疾患の分類と治療	大内 美南	561(3)
4.	原発性免疫不全症候群の遺伝子診断	岩田 力	769(4)
5.	先天代謝異常と遺伝子	渡辺 博	987(5)
6.	小児悪性腫瘍と遺伝子	林 泰秀	1211(6)
7.	先天性心疾患と遺伝子	賀藤 均	1437(7)
8.	小児の事故とその予防	山中 龍宏	1663(8)
9.	予防接種の現状と問題点	牛島 廣治	1851(9)
10.	小児気管支喘息の治療	早川 浩	2037(10)
11.	小児科からみた不登校	衛藤 隆	2239(12)
12.	乳児突然死症候群の現状と対策	太神 和廣	2451(13)

〔日常診療に必要な HIV 感染の知識〕

1.	HIV 感染症/AIDS の疫学情報最近の動向	鎌倉 光宏・桜井 賢樹	785(4)
2.	抗 HIV 療法の実際—最近の進歩	岡 慎一	979(5)
3.	HIV 感染症—外来診療でのチェックポイント	味澤 篤	1227(6)
4.	HIV-RNA 定量法と臨床的意義	服部 雅俊・西田 恭治・福武 勝幸	1431(7)
5.	HIV 感染症における日和見感染症の診断・治療・予防	安岡 彰	2257(12)

〔CHEC-TIE よい医師-患者関係づくりのために〕

1. 診療のスタンダード(ガイドライン)を逸脱するよ
うな要望が出されたら
.....箕輪 良行・柏井 昭良 158(1)
2. 患者から前医への不満や非難を向けられたら
.....箕輪 良行・柏井 昭良 404(2)
3. 患者から不満やいら立ちをぶつけられたら
.....箕輪 良行・柏井 昭良 572(3)
4. 患者が医師の専門領域に疑問を表明したとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 790(4)
5. 患者がその日の診察に満足していないように見え
たとき箕輪 良行・柏井 昭良 992(5)
6. 患者が医師の指示になかなか従ってくれないとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 1236(6)
7. フォロー中の患者に見落としていた重大な病気が
見つかったとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 1434(7)
8. 患者が繰り返し医師へ誘いをかけてくるとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 1654(8)
9. 有効で安全な治療を患者さんが拒否したとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 1864(9)
10. 患者が医師とのコミュニケーションギャップを話す
場面をみせてもらった
.....箕輪 良行・柏井 昭良 2048(10)
11. 末期の患者が診療への疑問や不安を表明したとき
.....箕輪 良行・柏井 昭良 2262(12)
12. 医師の体調が悪くとも診療しなければならないと
き箕輪 良行・柏井 昭良 2456(13)

〔Drug Information—副作用情報〕

10. 薬剤性徐脈による重篤な反応
.....浜 六郎 161(1)
11. 意識障害・脳症(1)—Reye 症候群, 原因不明の急
性脳症と NSAIDs
.....浜 六郎・山本 征也 397(2)
12. 意識障害(2)—インターフェロン脳
.....浜 六郎・別府 宏匡 569(3)
13. 意識障害(3).....浜 六郎 781(4)
14. 意識障害・脳症(4)—薬剤性意識障害の治療
.....浜 六郎 983(5)
15. フェノテロールと喘息死浜 六郎 1231(6)
16. 消化性潰瘍・消化管潰瘍(1)
.....浜 六郎 1447(7)
17. 消化性潰瘍・消化管潰瘍(2)
.....浜 六郎 1667(8)
18. 消化性潰瘍・消化管潰瘍(3)
.....浜 六郎 1861(9)
19. 消化性潰瘍・消化管潰瘍(4)
.....浜 六郎 2051(10)

20. 薬剤性血液障害(1)白血球減少・無顆粒球症(その1)
.....浜 六郎 2253(12)
21. 薬剤性血液障害(2)白血球減少・無顆粒球症(その2)
.....浜 六郎 2447(13)

〔医道そぞろ歩き—医学史の視点から〕

21. 長崎蘭館の医師モーニケ二宮 陸雄 184(1)
22. 経口血糖降下剤の開発とモンペリエ
.....二宮 陸雄 406(2)
23. ライデン大学の医師資格試験
.....二宮 陸雄 576(3)
24. シルヴィウスのソクラテスの教育
.....二宮 陸雄 792(4)
25. ライデン大学の教育者ブルハーフ
.....二宮 陸雄 1008(5)
26. 甲状腺機能亢進症を記載した人びと
.....二宮 陸雄 1238(6)
27. バセドウのメルゼブルク 3 徴候
.....二宮 陸雄 1450(7)
28. ドブスンの糖尿病代謝異常説
.....二宮 陸雄 1672(8)
29. ジギタリスを発見したウィザリング
.....二宮 陸雄 1866(9)
30. 生物学を揺るがした DNA の二重らせん構造
.....二宮 陸雄 2054(10)
31. 心電図学の創始者エイントーフェン
.....二宮 陸雄 2264(12)
32. 1800 年前の臨床医アレタイオス
.....二宮 陸雄 2458(13)

〔Scope〕

1. 血球貪食症候群.....貞森 直樹 2043(10)

〔medicina Conference〕

- (第 20 回)両側の副腎腫瘍を認め,側腹部痛と全身倦怠
感を訴えた 65 歳の男性
井上 利彦・宮本 貴由・山崎 正行
木村 建彦・阿部多賀子・板東 浩 167(1)
- (第 21 回)息切れと下血を認めた 85 歳の女性
吉岡 敏文・陸門 靖・山崎 聡
有田 健一・大道 和宏・平田 知代
山木戸道郎 994(5)
- (第 22 回)発熱・乾性咳・呼吸困難を訴える 49 歳の男性
村上 知文・渡邊 祐子・洲之内建二
土井 正男・藤尾 栄起・北原 光夫 1674(8)
- (第 23 回)上腹部痛と嘔気を訴えた 24 歳の女性
雨森 正記・川上 恵基・三宅 直樹
井上 雅史・福田 勝美・松本 恒司
山内 宏哲・太田 敬治・田村 忠雄 2266(12)